

授業科目 身体障害作業療法学Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	作業
貝 淵 正 人、能 村 友 紀		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 作業療法の対象となる身体障害者の心身機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、その治療理論及び治療・支援技術の概要を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 身体障害作業療法の守備範囲について説明できる。 2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害について説明できる。 3. 身体障害に関して国際障害分類（ICF）が適用できる。 4. 中枢神経疾患に関する作業療法の概要を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	身体障害作業療法概説（対象疾患と障害の特徴、治療対象となる障害）			1	講義（貝淵）
2	脊髄損傷の運動・知覚機能の症状			2	講義（能村）
3	脊髄損傷の運動・知覚機能の評価			3.4	講義（能村）
4	脊髄損傷：運動・知覚機能回復			3.4	講義（能村）
5	脊髄損傷：運動・知覚機能代償			3.4	講義（能村）
6	脊髄損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）			3.4	講義（能村）
7	脳血管障害の運動と知覚機能：異常筋緊張、連合反応、共同運動など			2	講義（貝淵）
8	脳血管障害の評価：Br. Stage、MFTなど			3.4	講義（貝淵）
9	脳血管障害の評価：STEFなど			3.4	講義（貝淵）
10	脳血管障害の治療：運動・知覚機能回復			3.4	講義（貝淵）
11	脳血管障害の治療：運動・知覚機能代償			3.4	講義（貝淵）
12	脳血管障害：回復過程に応じた治療：急性期			3.4	講義（貝淵）
13	脳血管障害：回復過程に応じた治療：回復期			3.4	講義（貝淵）
14	脳血管障害：回復過程に応じた治療：慢性期			3.4	講義（貝淵）
15	まとめ			1～4	講義（貝淵）
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		身体機能作業療法学		岩崎テル子編	医学書院 2005・4,700円
		目でみるリハビリテーション医学第2版		上田 敏	東京大学出版会 1994・3,800円
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席 レポート 期末試験					